

自由研究の進め方例

「なぜだろう?」「わからない!」「しりたい!」と思ったことから、研究ははじまります。

☆まとめるときに必要なこと☆

- | | |
|----------|---|
| 1 きっかけ | ・どうしてしらべようと思ったのか。好きなこと、みぢかなこと、見たり聞いたりしたことから
かんがえてみる。 |
| 2 調べたいこと | ・どんなテーマにするのか。調べたいことをくわしくするとよい。 |
| 3 準備 | ・調べることや調べかたをかんがえ、計画をたてる。
・調べることについて予想する。 |
| 4 調べる方法 | ・どのように調べたかを書く。調べた順番や手順もあるとわかりやすい。 |
| 5 わかったこと | ・調べてわかったことを書く。絵や図、写真があるとわかりやすい。
かんがえたことやもっと調べたいこと、さらに調べたこと、研究した感想もあるとよい。 |
| 6 備考 | ・参考にした本のタイトル、出版社、参考にしたWebページのURLを書く。 |

☆研究の例☆

【1・2年生】（1・2年生は、やりたいひとだけがとりくみます。）

- ・かぞくのひとがしているおうちのしごとや、じぶんがしているおてつだい
- ・きんじょのひとのおしごとのようすや、おみせのひとのおしごとのようす
- ・バスやでんしゃ、はたらくるまのこと
- ・かっているペットやいきもの、てんきのこと など

【3・4年生】

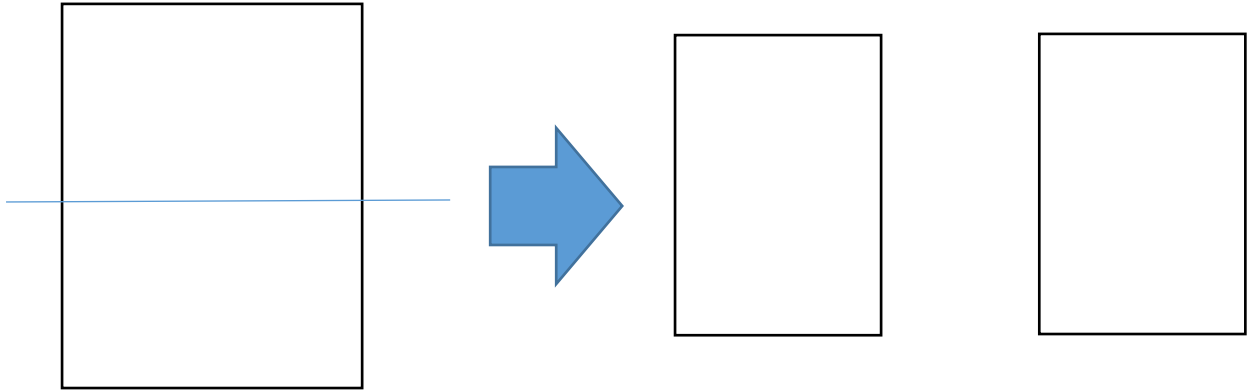
- ・理科や社会科など、学習したことの中でぎもんに思ったこと、もっと調べたいこと
- ・毎日の生活の中で、物事をもっと楽に行うための工夫や発明
- ・公民館や図書館などのしせつを利用した経験、お祭りなどの活動に参加した経験
- ・学区やさいたま市や埼玉県の産業、交通、文化、歴史に関すること
- ・地域にあるしせつなどを見学したこと（警察署・消防署・環境センター・NHK・公民館・県立文書館・市役所・県庁などの
はたらき）
- ・電気、ガス、水道が家に届くまで
- ・旅行や帰省先の土地の様子や人々のくらしの様子 など

【5・6年生】

- ・理科や社会科など、学習したことの中で疑問に思ったこと、もっと調べたいこと
- ・毎日の生活の中で、物事をもっと楽に行うための工夫や発明
- ・各都道府県について産業・交通・文化・気候などや人々のくらしの様子
- ・市・県・全国的な歴史上の人物に関することや文化遺産
- ・県・全国的な歴史上の出来事（忍城・川越城、秩父事件、県の太平洋戦争の被害など）
- ・旅行や帰省先で調べた特色のある産業や文化の様子 など

☆^{けいしき}形式☆

模造紙の場合、半分に切り、縦長に2枚、上側をホチキスで止めてください。横書き。



①題名、学年、学級名、氏名

②調べたこと

（絵・図・写真などを入れると、分かりやすくなります）

③感想（調べたことについて思ったこと、わかったことや考えたことも書きましょう）

④備考（参考にした本の名前、資料に使ったものの出どころ）

例①

①題名、学年、学級名、氏名

②きっかけ（調べようと思ったわけ）

③用意したもの

④調べる方法（予想や、調べる手順を書くのもよい）

⑤まとめ（絵や図、写真があると、視覚的にも伝わりやすくなり、研究の内容もよりわかりやすくなります。また、さらに疑問に思ったことを追加して調べていると、より深まった研究といえます）

⑥備考（参考にした本の名前、資料に使ったものの出どころ）

例②

まとめる形式は^{けいしき}模造紙でなくてもかまいません。^{もぞうし}模造紙は大きいので書きにくいかもしれません。ファイルやスケッチブック、^{ないよう}内容に合わせた^あノートなどをつかうのもおすすめです。

※PCでのまとめも可能（提出時にプリントアウト）

<ノートなどを使用する際の例>

- ・1ページ目：題名、学年、学級名、氏名
- ・2ページ目：きっかけ
- ・3ページ目：調べたいこと
- ・4ページ目：準備
- ・5ページ目：調べる方法
- ・〇ページ目：わかったことや感想
- ・〇ページ目：備考など